

ジェイアールバス東北本部

第20号

2021年11月24日

〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡1-4-3 JR東労組仙台地方本部内
NTT:022-297-0155 JR:031-3981~3983
発責：佐藤 秀一 編集：情宣部

申5号

『「2021年度年末手当に関する申し入れ」の回答に対する
緊急再申し入れ』について団体交渉を行う!!

会社回答は変わらず!!

ジェイアールバス東北本部は11月24日に、申5号『組合員の現状に対する切実な声を第一に考え、組合員の家族と生活を守るために「2021年度年末手当に関する申し入れ」の回答に対する緊急再申し入れ』について団体交渉を行い、組合員の声を訴えてきました。

怒

<組合員の声>

- ◎コロナ感染リスクを抱えながらも勤務協力をし、要員不足の中、転勤・助勤に応じてきたが、その頑張りに答えていない会社回答に怒りを感じている。役職関係なく乗務するくらいの態度を見せないと納得いかない。
- ◎様々な会社施策に対して、やれることは最大限やっている中で年収が下がっていることに納得できないし、経済的に非常に厳しい。
- ◎コロナが落ち着いて明るい兆しが見えてきている中で、本音としては夏季手当よりも下がることに怒りが込み上げる。
- ◎今後収入を上げて行くためには、社員のモチベーションを上げていくことが重要である。この額では、やる気を失う一方であり、業績が悪いからと言われても簡単に納得できない。
- ◎年末年始の繁忙輸送においても頑張ろうという意識が高まらない。
- ◎期末手当が業績給ということは重々承知しているが人がいなければ稼げない。この額では勤務に協力できない。回答について再考すべきである。
- ◎健保の徴収ミスによって、支払いで今回のボーナスのほとんどが無くなってしまう。
- ◎各種ローンの支払いや子供の学費の支払いが、この数字では厳しい。
- ◎ガソリン代の高騰もあり負担が大きくなっている。子供が進学で学費の支払いをどうするか悩んでいる。経済的な事情で進学を諦めてもらった。
- ◎赤字であるが要員不足の中での奮闘により昨年より収入を上げている。また、コロナワクチン接種も進み明るい兆しが見えている。去年の1.8ヶ月を下回ることも納得いかない。
- ◎私たち社員の努力を評価しているのであれば1.5ヶ月より下がることは無いはずである。頑張っているのに対して下げることに私たちは怒っている。
- ◎要員不足が深刻な受託事業所では、自分たちが働かなければ回らないだろうと憤慨している。

<会社回答>

- ◎11月19日に交渉した申3号の回答のとおりである。(1.45ヶ月)
- ◎コロナ禍において安全安定輸送と施策に協力いただいていることにお礼を申し上げる。
- ◎組合員・社員の生活実態の訴えに対し、響いているからこそ1.45ヶ月であり最大限社員の声を反映した数字である。社員の努力に対して最大限の支給率を決めさせていただいた。
- ◎一時的に業績が上がっても、結果的に赤字である。そこを御理解していただきたい。
- ◎会社は、もう貯金を使い果たそうとしている。会社を残さなければならない。

現場の努力と苦勞に報いない 会社回答に納得できない!!